

抱樸館を支える会 会報

53号



2022年6月1日発行:抱樸館を支える会

抱樸館福岡の日常をご紹介します

抱樸館福岡の日常について皆さまにご紹介するとともに、コロナ禍の状況でも実施している催事等含めて紹介します。

抱樸館福岡では入居者に対して、できるだけ家庭にいるようにくつろいでいただけるよう心がけています。



抱樸館福岡に入居するまでにいろいろなことがあった入居者の皆さんがホッと過ごせる場となり、そして、いずれ自立して生活するための準備を、職員と入居者が一緒になって取り組んでいます。

抱樸館福岡の一日

6時00分 起床

7時00分 1階、3階の入居者の朝食

7時20分 2階の入居者朝食

食堂で密を避けるため、2回に分けて朝食を摂ります。水・土はパン、それ以外はご飯を中心にした朝食です。



7時40分 館内清掃

入居者全員で館内の掃除を行います。階段やお風呂、談話室や喫煙所など共有部分の掃除を行います。



8時50分 ラジオ体操

これまでは食堂に集まってラジオ体操をしていましたが、新型コロナ感染対策で集まれない

ので、各居室にてラジオ体操を行います。

9時00分 検温

入居者全員の体温チェックを事務所にて行います。

9時05分 地域清掃ボランティア

入居者とスタッフで地域のゴミ拾いをします。雨天・土日祝を除いて11年間継続している取り組みです。町内会からも大変好評いただいています。



9時10分 活動の開始

地域清掃と前後して、それぞれの一日の活動が始まります。通院や求職活動、仕事や研修とそれぞれ活動を始めます。スタッフはそれらの同行や今後の計画等について入居者と相談するなど、自立に向けた支援を進めます。

9時30分 除菌ボランティア

11時00分 除菌ボランティア

新型コロナウイルス感染症が広がって以降、入居者がボランティアで館内のドアノブや机、椅子など、みんなが利用するものや場所を除菌します。

12時00分 1階、3階の入居者の昼食

12時20分 2階の入居者の昼食

入居者の食事に使用する食材はグリーンコープの生産者・メーカーのご好意で無償提供いただいているものが沢山あります。それらを厨房スタッフが工夫して、入居者の栄養バランスや季節感も考慮して、メニューに仕上げます。



13時00分 全体ミーティング

毎週火曜日には、入居者全員を対象にした全体ミーティングを放送で案内しています。新しい入居者の紹介、スケジュールや催し等の案内、館内の様々な問題や入居者からの意見・苦情等を受けて全体周知が必要な事項を確認します。

14時00分グリストラップ清掃（毎週月曜日と木曜日）

入居者がボランティアで厨房の排水処理設備であるグリストラップの清掃を行ないます。作業後は厨房スタッフからおやつをいただきながらお茶をします。このような共同作業を通じて入居者同士の交流も深まります。



15時15分 除菌ボランティア

17時30分 除菌ボランティア

18時00分 入浴（6名ずつ）

18時00分 1階、3階入居者夕食

18時20分 2階入居者夕食

夕食の時間です。また、入浴も18時から21時まで可能となるため、あわただしい時間帯ですが、毎回6名の入浴制限を設けています。お風呂は毎日お湯を入れ替えています。

18時45分 除菌ボランティア

22時00分 消灯

消灯時間です。夜間スタッフは施設内を巡回し、戸締り、施設内の施錠、消灯をします。

23時00分

抱樸館福岡は一日で一番静かな時間帯を迎えます。

グリストラップ清掃、除菌ボランティア等の他にも定期的に行なっているプログラムやスケジュールがありますのでご紹介します。

抱樸館福岡の一週間

【月曜日】

- 「抱樸館を支える会会報」発送作業（隔月）

入居者で「抱樸館を支える会会報」の宛名シール貼り等を行ないます。皆さんに届いている会報



の宛名シールは入居者が一枚ずつ手作業で貼ったものです。

○ 法律相談会（第4月曜日）

弁護士・司法書士の方に来ていただき、債務整理やその他の法律上の相談を行ないます。

【火曜日】

○ 生活再生相談（第1、3火曜日）

グリーンコープの生活再生相談室に来ていただき、生活していく上で金銭的に困っていることや借金の問題等、解決に向けて相談します。

○ 居室チェック（第2火曜日）

入居者の居室を訪問して部屋の状態を確認します。備品の不足や破損の点検だけではなく、整理整頓ができていないかの生活状況も確認します。

○ 手しごとボランティア（第2火曜日）

福岡市のボランティアセンターに届ける古切手の整理やグリーンコープの平和の取り組みに合わせて折り鶴作成等を行なっています。



【木曜日】

○ 出金日・シェルター支給日（毎週）

入居者だけでなく、抱樸館福岡を退居した後も金銭管理を依頼されている方たちの出金日とし、金銭管理を行ないながら計画的に生活できるよう支援します。

【金曜日】

○ 内部ケア会議（月2回）

入居者の課題に寄り添い、サポートする方針や内容などを職員間で試行錯誤しながら話し合い、支援方針を共有しています。

【日曜日】

○ 洗車ボランティア（毎週）

ボランティアを募り抱樸館福岡の業務車両を洗車していただいています。



抱樸館福岡の年間行事

○ 避難訓練 (5月・11月)

福岡市消防局東消防署にお願いし、火災が発生したことを想定しての避難訓練や消火訓練を実施しています。入居者も消火器を使っ



○ 園児と芋ほり (5月)

抱樸館福岡の隣にある保育園の園児たちと一緒に芋ほりを楽しんでやっています。芋ほりができるよう、畑の手入れは職員と入居者で行っています。



○ 救急救命講習 (年1回)

福岡市消防局の方に抱樸館へ来ていただき、出張救命講習を行っています。心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びます。もしもの時でも冷静に行動できるように講習を行います。



○ 大掃除 (12月)

入居者と職員が日々行き届いていない場所の大掃除を行います。



○ きせつだより (年2回)

抱樸館の卒業生約800人に毎年2回お便りを出しています。現在の抱樸館の状況報告やイベント案内などお知らせの他に、日常生活を送るなかで困ったことがあった時など、いつでも気軽に相談ができるようにという意味も込めて、お便りをお届けしています。

○ 散髪ボランティア (現在不定期)

卒業生の方のボランティアによる散髪です。集まったカンパ金は抱樸館福岡の活動に寄付をしていただいています。



○ 納骨式 (3月・9月)

抱樸館を卒業して病院や居宅内でお亡くなりになられた方などで身寄りがない方を、社会福祉法人グリーンコープが建立したお墓に年に2回納骨させていただきます。2021年度は8名納骨させていただきました、総勢42名の方を納骨させていただきます。



○ お祭り (秋ごろ)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により2年間開催していませんが、今年は秋ごろに感染拡大防止対策を徹底しながら開催する予定です。



○ もちつきボランティア (12月)

毎年年末に、朝倉市の水害復興支援の地域の餅つきに入居者と卒業生、職員で参加しています。



○ ボランティア (不定期)

入居者が卒業して地域で生活していくために、色々な方と関わりを持つことが大切です。各地域で草取りなどのボランティアに積極的に参加させていただきます。

抱樸館福岡の日常や行事について、新型コロナウイルスの影響により中止していることが多くあります。感染防止対策をしっかりとしながら、少しでも元の日常に戻れるようにしていきたいと思ひます。

だんだん食堂からありがとうの気持ちを込めて

～熊本県の子ども・地域食堂取材しました～

熊本県上益城郡嘉島町で子ども・地域食堂や子どもの居場所を運営しているハンズハンズ代表の穴井智子さんに話を聞きました。穴井さんは自身が経営する居酒屋だんを使って活動を行うほか、一般社団法人熊本県子ども食堂ネットワークの発起人でもあり、熊本県の子ども食堂をつなぐなど様々な活動をされています。



——支援を始めたきっかけを教えてください。

「2016年に起きた熊本地震の影響で家が崩れてしまい、自宅からランドセルを出すこともできず、困っている子ども達と出会いました。ちょうどその時、ランドセルを海外へ寄付する団体に協力しようと、私もランドセルを集めている最中でしたので、手元にあったランドセルを困っていた子ども達へ譲り、とても喜んでもらえたことが活動を始めるきっかけとなりました。その後、被災者支援を続けていくなかで、地域に住む方々から『地震で住む家がなくなり、みんなで集まる場所も機会もなくなって、とても寂しい』という意見がありました。その時に、居酒屋だんを使って、みんなが集まってご飯を食べられると良いなと思い、お昼ご飯を無償で提供しました。120人ぐらいの方々が来られ、震災以降、初めて集まった方々がたくさんいて『無事で良かったね』と抱き合いながら涙を流し『こんな機会が無かったから本当に嬉しい』との言葉をもらいました。これを一回きりで終わらせてはいけないと思ったこと、このような活動にニーズがあることを実感して、子ども・地域食堂だんだん食堂をスタートさせることになりました」



穴井 智子さん

——だんだん食堂の名前の由来は。

「熊本の方言で、ありがとうの意味なんです。『だんだんなあ』という響きが好きで、そこ

から名前を取りました。この食堂に、子どもだけではなく、高齢者も含めた地域の方々にも来てほしいと思います。この場所は、多世代交流やみんなの居場所だけでなく、ひとり親家庭やコロナの影響などで困った方々へのサポートをしながら、同時に相談支援も行っています。今はコロナの影響もあり、食堂での会食が少なくなりました。代わりにフードパントリーを開催し、お弁当や食材などの提供を行っています。食材を配布するだけでなく、食でつながることを大切にしています。色々な方とつながって、困っている方への応援ができると良いなと思っています」



——子どもの居場所もスタートしたとか。

「2022年の2月に子どもの居場所だんだんほ一むICOCA（行こか）をオープンすることができました。総勢20名ぐらいのスタッフがいますが、全てボランティアスタッフです。私の活動に共感して、賛同いただける方が集まって、皆さんの協力のもとで活動しています」



——活動するなかで大切にしていることは。

「子ども達が危ないことや命に関わるようなことをした時は『駄目なことは駄目』と、きちんと叱るようにしています。安全に、楽しく過ごせるように気を付けています」

——今後やりたいことなどを教えてください。

「今は任意団体ですが、法人化して基盤を整え、将来継承できる組織づくりを目指して、今後もずっと継続していけるようにしたいです。また、子どもの居場所ICOCAを居場所兼カフェのようにして、そこに来るみんなで運営をして、より集まりやすい居場所にしていきたいと思っています」

——ありがとうございました。

共同墓地に眠る仲間との絆・・・

～抱樸館福岡の納骨式取材しました～

抱樸館福岡が開所して12年が経過し、これまで1300名を超える方が抱樸館福岡を利用してきました。抱樸館での支援を通して、地域生活を送っている方々も高齢化が進み、お亡くなりになるケースが年々増加しています。

抱樸館福岡に入居された方のなかには、家族との関係も無くなってしまい孤独になり、仕事を失い社会的にも孤立してしまった方も少なくありません。『自分が亡くなったあとは無縁仏になるしかない』『入るお墓がなくて不安だ』という声を受けて、2018年に福岡県粕屋郡篠栗町にある、ささぐり極楽霊園にお墓を建てました。墓石には、絆の文字を入れ、いつまでも切れることのないつながりを持つようにと願いを込めています。



納骨式は年に2回お彼岸のシーズンに開催されます。取材当日は、抱樸館の相談員と卒業生合わせて14名が参加しました。幸いにも晴天に恵まれ、共同墓地にいる仲間が今日の日を見ていたようにも感じました。

——何人の仲間がこの共同墓地に眠っていますか。

「2021年10月から2022年3月までの間にお亡くなりになった8名の方を本日納骨しましたので、この共同墓地に眠る仲間は42人となりました。実は、本当だったら43人だったのですが、少し前に納骨した方のご親族（息子さん）が見つかり、引き取りたいとの意向を受け、ご遺骨がご家族の元に戻られたということがありました。本来、ご家族の元に戻れることが一番良いと思っていたので、嬉しい出来事でしたね」



今日納骨された方の担当職員も参加されていたため、納骨された方がどんな方だったのか話を聞きました。

「Aさんは、抱樸館に入居する前は、クリーニング業で生計を立てておられました。入居された経過は、当時、お金の使い方が上手ではなく、生活が立ち行かなくなったことが原因でした。抱樸館での生活を経て、抱樸館を卒業後も、抱樸館スタッフからの金銭管理についてのフォローを受けながら、地域で穏やかな生活を送ることができていました。Aさんはとても優しく、温厚な方で、地域やご近所の方々にお友達もたくさんおられ、交流もしかったです」

「Bさんは、生活するためのお金が無くなり、食べることに困って万引きをすることを繰り返して、人生の半分以上を刑務所で過ごされていきました。抱樸館に入居後に気づいたのですが、恐らく軽度の知的障がいがあったと思います。入居が70歳ぐらいだったので、障がいの制度ではなく介護保険制度の活用となったため、はっきりとは分からずじまいでした。入居前のBさん自身は、どのようにしたら福祉の制度が利用できるのかなど全く分からない状況だったそうです。でも、抱樸館に入居され、支援を受けるようになってからは生活が安定し、同様のことは一切なくなりました。もっと早い時期に出会い、支援をすることができていたら、Bさんの多くの人生が安定した暮らしだったと感じます。私たちは、このような方々に一人でも多く出会い、支援をしていくことが大切だと改めて感じました」

——納骨式を終えて今後の想いを聞かせて下さい。

「抱樸館の仲間みんなでお墓参りをし、故人を偲ぶことがとても大切だと思います。ずっと切れることのないつながりを持ち続け、今後も支援をしていきたいです」



——ありがとうございました。

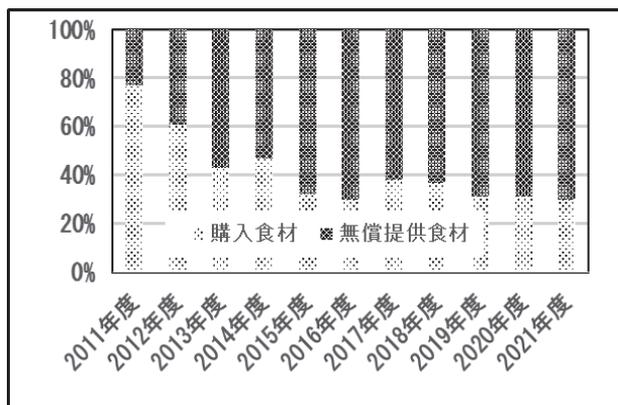
いただいた食材を大切にして季節感や温かさを感じられる 食事の提供に努力しています!

～抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から提供いただく食材に支えられています～

約7割の食材を無償提供いただ いています。

抱樸館福岡が開設されたのは、2010年5月で、今年で13年目に入りました。開設当初は、食材をすべて購入していました。当時、居室が満室の場合の食材費は年間1200万円位でした。

2012年1月にグリーンコープの取引先に食材提供をお願いしました。多種多様な商品を作っている生産者・メーカーから、たくさんの食材を提供いただけるようになりました。入居人数を勘案した食材の購入比率（購入食材：無償提供食材）は以下のようになっており、約7割の食材を提供いただいています。



2021年度は入居者数が増え、 提供している食事数も大きく増 えました。

2021年度の購入食材は約300万円で、前年よりも約50万円増加しました。年間平均入居者が25%増加し、食事提供が増えたことが大きな要因です。そのなかでも、特別メニューとして土用の丑の日にうなぎを提供したり、クリスマスに合わせたメ



ニューを工夫したり、大晦日にはすき焼きを、元旦にはお雑煮、おせちを用意するなど、季節の行事に合わせた料理を提供しています。

抱樸館福岡を卒業された方々へ、 手作り弁当の提供をスタートし ました。

これまで希望する卒業生は、抱樸館の食堂で食事をする事ができていました。しかし、コロナの影響を受けて、抱樸館では入館制限を設けていることから、卒業生への食事の提供ができていません。そのな



かで『抱樸館の食事が食べたい』と多くの卒業生から依頼があり、2021年度から手作り弁当の提供を開始しました。お弁当は栄養・ボリュームともに満点です。卒業生たちからは『懐かしい味がする』『第二のおふくろの味だ』と大変喜ばれています。

2021年度は53のメーカー や生産者から、無償提供いただき ました。

青果の9割ほどは生産者から無償で提供いただいています。無償提供いただいている青果は小玉などの規格外青果が中心です。根菜類（パレイショ・玉ねぎ・人参・大根・かぶなど）、葉野菜（白菜・キャベツ・レタス・小松菜・青しそ・ネギの葉・ブロッコリー・菜の花など）、果菜類（きゅうり・なす・トマト・スイートコーン・かぼちゃ・ゴーヤなど）、果物（小玉すいか・晩柑など）をいただいております。購入するのは時期的に不



足する葉野菜と果菜類の一部です。旬の時期には工夫を凝らして、いただいた野菜をいろいろなものに使っています。グリーンコープの生産者から提供される野菜は味が良いので、入居者に大好評です。

椎茸・えのき茸は毎週提供いただいております、購入することはありません。

たまごは生産者から毎週20～30kgを無償提供いただいております。たまごはよく使う食材です。抱樸館福岡で使うたまごはすべて無償提供いただいております、本当に助かっています。

調味料の味噌・醤油は、年間を通じてグリーンコープの取引先からの無償提供分でまかなえています。味噌は540kg、醤油は約324ℓになります。味噌・醤油は料理の基本的な調味料で、味の決め手となるので、とても助かっています。それ以外の調味料ではケチャップ、ソース、ポン酢、ドレッシングなどを無償提供いただいております。

豆腐は毎週60丁(×300g)無償提供いただいております。

納豆は朝食に大好評です。無償提供いただいた納豆だけでまかなえています。

練り製品(天ぷら類など)は定期的に無償提供いただいております購入することはありません。

干物は魚種おまかせ(40尾～90尾入)を干物BOXとして、1回に4箱前後、2ヶ月毎に無償提供いただいております。2021年5月からスタートし、6回(26箱)届きました。これまで12種類の魚を送っていただきとても喜ばれています。



ハム・ソーセージはGCハム・ウィンナー・ベーコン規格外を無償提供いただき、購入する必要はなくなっています。

こんにゃくは毎月定期的に無償提供いただいております、購入することはありません。

漬物は不定期に無償提供いただいております。**パン**は食パンを毎週メーカーより継続して毎週無償提供いただいております。朝食で提供しています。

お米の購入食材費に占める割合は、約40%

です。2021年度は前年より約50%増の支援をいただいたおかげで、お米の購入割合は約27%となりました。グリーンコープの取引先(生産者など)や抱樸館を支える会賛助会員の方々なども含め無償提供いただいたお米は合計2,295kgです。これは、抱樸館福岡の約4ヶ月分の消費量に相当します。



その他の食材では、お正月用の味付け数の子、餅類、お菓子類などを提供いただいております。

グリーンコープ連合の農産部や青果リパック事業部からは、予備品や規格外のかぼちゃ、小松菜、しょうが、りんご、バナナ等を提供いただいております。また他の部署からも冷凍食品(たこ焼き)、ドライ商品(パスタ)、お菓子等をいただいております。

提供いただいている取引先名・生産者名は1年分をまとめて抱樸館福岡の食堂で、感謝を込めてお名前を紹介させていただいております。

厨房職員の工夫で美味しい食事になります。

食材は計画的にいただいているもの、長期保存できるものだけではありません。賞味期限が迫っている食品や、同じ品目のものなどをたくさんいただくことがあります。いただいたすべての食材を無駄なく和食・洋食・中華と味のバリエーションにも工夫を凝らしながら調理をしています。3度の食事は入居者にとって楽しみのひとつです。みなさんに喜んで食べてもらえるようにこれからも頑張っていきます。

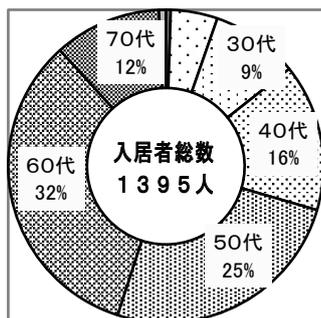


みんな大好き
「手作りコロッケ」

提供いただいている食材は抱樸館福岡になくはないものになっています。誠にありがとうございます。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2022年4月末までの入居者数



	人数	割合
10代	9	0.6%
20代	77	5.5%
30代	122	8.7%
40代	215	15.4%
50代	342	24.5%
60代	448	32.1%
70代	170	12.2%
80代	12	0.9%
計	1395	100%

2022年4月末現在の入居者

69人(定員81名) 男性69名、女性0名

2022年3～4月の新入居者数・退居者数

新入居者数10名 退居者数10名

(注: 4月末までの入居者数1395名は、
2度・3度入居した人も1名と数えています。)

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館福岡の見学のご案内(現在、中止中)

- ・抱樸館福岡を身近に感じていただき、ホームレス問題を深く知っていただくために、広く見学を募ってきました。多くの方が見学に訪れてくださり感謝申し上げます。
- ・大変残念なことですが、現在コロナ禍のため、入居者の健康を最優先し、見学を中止しています。
- ・状況が変わりましたら、会報やホームページ等でご案内を再開させていただく予定です。ご了承下さい。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日: 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員: 以下の18団体が正会員です。

- グリーンコープの各単協(15生協)
- グリーンコープ連合会
- NPO法人 抱樸(旧: 北九州ホームレス支援機構)
- 社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

2022年4月末の賛助会員は、以下の通り

- グリーンコープの共同購入組員 10,629名
- グリーンコープの店舗組員・一般の方 180名
- 企業賛助会員 101社

その他(抱樸館の所在地)

- 抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年 5月開所
- 抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年 9月開所
- 抱樸館下関: 新たに開設を準備中
- 抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。
賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく(年間で3000円です)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- ②101000円の賛助会費を申し込みいただく何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。(グリーンコープの共同購入組員の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組員

101000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1010,000円です。出来れば30(30,000円)以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)

〒860-0811 熊本市中央区本荘